

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1222	(H.26)No.	1222
-----------	------	-----------	------

事務事業名	生活安全推進協議会費		
担当部局名	担当室名	室長名	
企画財政部	危機管理室	田中 弘二	

会計区分	事業コード	024801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	生活安全協議会費	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 防犯対策費	生活安全協議会費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施 策	1	防災
	小 施 策	1	災害に強いまちづくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市民にとって身近な問題である防災、防犯及び交通安全に、市民や関係機関と一体的に取り組むことにより、市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりを目指します。
事業内容
名張市生活安全推進協議会に防犯部会、防災部会及び交通安全部会の3部会を設け、部会ごとの活動の推進を図っています。防災部会は、地域における自主防災活動の取組を推進し、防犯部会は、市民の防犯思想を高めるとともに積極的に防犯活動を実施しています。また、組織の円滑な運営と効率的な活動を行うため、3部会相互の連携を図っています。(交通安全部会は、都市整備部都市計画室が所管しています。)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 総会、役員会、理事会及び各部会の開催 防災講演会の開催 各部会研修会の開催 名張市総合防災訓練への参加 名張川納涼花火大会特別警戒、八日えびす祭り及び年末特別警戒の実施 各地域における防犯相談員として活動 	<ul style="list-style-type: none"> 総会、役員会、理事会及び各部会の開催 防災講演会の開催 各部会研修会の開催 名張市総合防災訓練への参加 名張川納涼花火大会特別警戒、八日えびす祭り及び年末特別警戒の実施 各地域における防犯相談員として活動 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の開催 講演会の開催 研修会の開催 特別警戒の実施 防犯相談員として活動 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の開催 講演会の開催 研修会の開催 特別警戒の実施 防犯相談員として活動 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の開催 講演会の開催 研修会の開催 特別警戒の実施 防犯相談員として活動
	・報償費 14千円 ・消耗品費 10千円	・報償費 18千円 ・消耗品費 32千円			

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	24千円	50千円	50千円	50千円	50千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 24	50	50	50	50
人工数					
職員	0.53人	0.53人	0.53人	0.53人	0.53人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 3,975千円	3,975千円	3,975千円	3,975千円	3,975千円
①+②総事業費	(0千円) 3,999千円	4,025千円	4,025千円	4,025千円	4,025千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
避難所運営訓練の視察研修を実施することにより、研修効果を高めることができました。 防犯部会と活動内容及び組織構成で重複する部分の多い名張地区防犯協会との連携・調整が必要です。	名張市総合防災訓練への積極的な参加により、地域の防災力向上に協力します。 名張地区防犯協会と密接な連携を図り、効果的、効率的に環境整備を図ります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	犯罪に対して不安感を持っている市民の割合が目標値を超えるとともに、地震等の災害への備えをしている市民の割合も前年に比べ上昇しました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	各部会の委員を各地域づくり組織から選出いただき、市の防災・防犯対策と地域における当該対策の連携を図っています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
防災部会が各地域における防災・減災対策のリーダーとして活動いただけるよう研修の充実を図るとともに、防犯部会と組織構成及び活動内容で類似する名張地区防犯協会との調整により、効果的な防犯活動につなげます。	